

保護者の皆様

令和8年10月吉日
札幌市立発寒南小学校
校長 大 山 健 一

「全国学力・学習状況調査」の結果について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、今年4月に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」における本校の結果の概要についてまとめましたので、お知らせいたします。今回の結果を基に、子どもたちの学ぶ力の更なる向上に向けて工夫・改善に努めていきたいと考えます。ご家庭での取組にも生かしていただければと思います。なお、問題、解答については国立教育政策研究所のホームページで公開されています。<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

学校と家庭での学習や生活の様子

生活面の質問事項から

【全国平均と比べ肯定的な答えの割合が高い項目】

- ◎朝食を毎日食べている。
- ◎毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ◎自分にはよいところがある。
- ◎人が困っているときは、進んで助けている。
- ◎学校に行くのは楽しいと思う。
- ◎友達関係に満足している。
- ◎人と違う意見を言っても否定されないと思う。

【全国平均と比べ肯定的な答えの割合が低い項目】

- 学校の勉強のことについて親や家族に話している。
- 将来の夢や目標を持っている。

学習面の質問事項から

【全国平均と比べ肯定的な答えの割合が高い項目】

- ◎授業でPC・タブレットなどのICT機器を活用している。
- ◎PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができる。
- ◎PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理することができる。
- ◎授業で課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる。
- ◎授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができる。

【全国平均と比べ肯定的な答えの割合が低い項目】

- 積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたい。

この結果は、子どもの学習状況及び、それに関わる生活状況についてのアンケート結果の中から特徴的なものを掲載したものです。

本校の6年生の子どもたちが、ICTを積極的に活用したり、学習課題の解決に向けて自主的・協働的に取り組んだりする様子が分かります。

学校でも子どもたちのよさをさらに伸ばしていけるよう指導にあたっていきます。

国 語

本校の概要

【領域ごとの正答率】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均を上回っている。
- 「情報の扱い方に関する事項」は、全国平均を上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」は、全国平均をやや上回っている。
- 「書くこと」は、全国平均を上回っている。
- 「読むこと」は、全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する

●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解する

●学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使うことができる

●話し合いの様子から人物像を具体的に想像する。

改善の方向性

- 漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方取得できるようにする学習活動の充実。
- 文の中で語句の関わり方や語順、文同士の接続の関係、文章の構成や展開を捉えながら、その文章の特徴について理解する学習活動の充実。
- 情報と情報の関係には原因と結果等の関係があることを理解し、様々な情報を整理してとらえる学習活動の充実。
- 自分の考えが伝わるように、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして書き表し方を工夫する学習活動の充実。

算 数

本校の概要

【領域ごとの正答率】

- 「数と計算」は、全国平均を上回っている。
- 「図形」は、全国平均を上回っている。
- 「変化と関係」は、全国平均を上回っている。
- 「データの活用」は、全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

●二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する

●単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つを比較することができる。

改善の方向性

- 場面と関連付けて、()を用いた式や、加法、乗法などの混合した式を使って問題を解く学習活動の充実。
- 見通しをもって問題に取り組んだり、具体的な場面との関連付けや、複数の解法を用いることによる、算出された回答の信頼性・妥当性を高める学習活動の充実